１．基本情報

体験談記入日（☆）	2023 年　1 月　18 日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部経済・経営学科
留学時の学年（☆）	2～3
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	✓　交換留学　　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	オーストラリア
滞在都市（☆）	シドニー
留学先大学等名（☆）	シドニー工科大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	ビジネス学部
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日（☆）	2023 年　2 月　3 日
渡航先からの出国日（☆）	2023 年　12 月　18 日
渡航先国での滞在期間（☆）	10 カ月半
同伴者の有無・続柄・年齢等	無し
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	21510 Introduction to Strategy 2023.2.22~5.17 90 分×2 回×12 週 レクチャー/チュートリアル 6 単位
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	21212 People and Organisations 2023.2.20~5.15 90 分×2 回×12 週 レクチャー/チュートリアル 6 単位
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	21555 Introduction to Human Resource Management 2023.2.20~5.15 90 分×2 回×12 週 レクチャー/チュートリアル 6 単位
履修科目名称 履修期間	21036 Managing Strategic Performance 2023.8.9~2023.11.1

授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	90 分×2 回×12 週 レクチャー・チュートリアル 6 単位
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	21407 Strategic Human Resource Management 2023.8.7~10.30 90 分×2 回×12 週 レクチャー・チュートリアル 6 単位
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	21650 Event Promotion and Sponsorship 2023.8.10~11.2 90 分×2 回×12 週 レクチャー・チュートリアル 6 単位
留学生（日本人）の割合	私が受けたクラスは全て自分１人だったが、英語コースの学生を含めると日本人留学生は少なくない印象。留学生割合は約 30%
成績評価の方法(試験・課題の数や分量等)	受ける教科による（レポート、持ち込み可/不可の試験、オンラインテスト等）。課題の分量は日本の大学より多い印象。
履修科目の制限等（あれば）	１教科 6 単位で留学生は１学期間に 18～24 単位受講する必要がある。
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	オンラインから登録できるメンター制度あり。教科によって受講必須の語学力テスト(Opela)で基準点を満たさない場合、追加で特別授業がある。HELPS と呼ばれる機関があり、レポートの添削・課題へのアドバイスや、週に数回の英会話教室を提供している。
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	無し
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	メインの建物の地下にバー・クラブバー・娯楽設備がある。また UTS グッズを扱う購買があり、学生は 10%引き。フードコートもあるが、学生割引などはない。
図書館について	中央が吹き抜けの美しい図書館がある。蔵書数も豊富でオン

	ラインからアクセスできる本・研究資料も多い。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	有。ただし予約が常に埋まっているので近所の保険が使える病院にかかった方が早い。
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	平均年会費 10ﾄﾞﾙ程度で入会することが可能。全体的にカジュアルなサークルが多い。入会率は高いが、参加率はあまり高くない印象。
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	メインの建物の地下に留学生センターあり。また、課題に関しては HELPS にも相談可能。
オリエンテーション等学校主催の行事について	それぞれの学期初めに O’day という名の文化祭兼オリエンテーションがある。各クラブ・サークルがブースを出店し、入会を促す。同日夜にO’fess という名の大学主催のクラブパーティが大学内で行われる。この日は大学全体がかなりの盛り上がりを見せる。チケットは事前購入必須（無料）。
現地の学生との交流について	クラスメイト・サークル・寮での繋がりが多い。留学生と現地の学生が関わるプログラムなどは特にない。
他の留学生との交流について	上と同じ。ただし、Yura Mudang(学内寮)に住む場合、留学生の割合が高いので他の留学生と友達になりやすい。
学外での活動について（地域コミュニティー活動等）	アルバイト活動や、自主的に地域イベントスタッフに参加することも可能。
長期休暇中の過ごし方	国内・海外関わらず旅行に出かける人が多い。バイトに明け暮れる人は少ない印象。
その他	毎週火曜と木曜の夕方には学生向けにフォーの無料配布が行われる(night owl) 。また事前に登録することで、毎週１回フリーパントリーをもらうことができる(blue bird)。

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	Student 500
ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	オーストラリア移民局のホームページからオンラインで申請。すべての手続きがオンラインで完結する。私の場合申請完了から取得まで１日もかからなかったが、回答必要項目が多く申請までに時間がかかるので余裕を持って取り組むことをお勧めする。目安は 3 カ月以上前。
利用航空会社	ANA
入国の際の現地空港名	シドニー国際空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	大学内の寮まで電車で約 20 分。最寄り駅から徒歩５分。
入国審査について（提示した書	VISA のコピーを提出。入国の目的、留学先の大学名、滞在先

類、審査官からの質問等）	を聞かれた。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	USI の取得、TFN(納税者番号)の取得、銀行の開設、OSHC のアクティベイト化、在留届の登録
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	現金 200 ドル。ただしキャッシュレス化がかなり進んでおり使うことはほとんどなかった。
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	ANZ の提供する VISA カード。銀行口座開設と同時にクレジットカード機能の付いたキャッシュカードを手に入れた。使えなかったことは無く、スマート決済やタッチレス決済にも対応していた。
留学中に利用した銀行名	ANZ Bank
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	【必要書類】パスポート、現金（預金額数十ドル）、住所（銀行のキャッシュカードの送付先）、マイナンバー/マイナンバー通知カード番号 銀行の支店に直接赴き、対面で手続きした。
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	なし
日本からの送金方法について	Wise を使用して日本の銀行口座からオーストラリアの銀行口座に送金
1ヶ月の生活費（目安）	寮費を除いて約 8 万円
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等）	学生寮（個人部屋ありの男女６人部屋）
家賃	約３万円/週、年間約 140 万円
住居を探した方法・時期	9 月中旬ごろ、UTS の公式サイトから。登録開始と同時に登録した。抽選で決まった。
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	預け入れのキャリーケース１つとリュックサック１つ。
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	基本的に自炊。学期中は週に２回大学によるフォーの無料配布。
1ヶ月の食費	約３万円
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	SIM カードを差し替えて現地の電話番号を使用
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	大学内、寮内共に学生用 Wi-Fi あり。時折つながりが悪いことがあったが、特に不便なく使えた。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本の大学で使用していた windows のノートパソコンと iPad をそのまま使用。
郵便について	特に変わったことは無い。何度か日本に手紙を送った際は、近くの郵便局にて国際郵便である旨を伝え対応してもらった。
交通機関について	電車、バス、路面電車が主な交通機関。大学が都市の中心部に位置しているため、車が無いと困ることは無かった。すべての交通機関について改札にクレジットカードをタップすることで支払い可能。Opal カードという名前の交通系 IC カードもある。
治安について	非常に良い。個人的な体感としては日本とさほど変わらない。夜中の一人歩きは避けるに越したことは無いが、都市部で常に人があふれているため夜中出歩いた際も危険を感じることは無かった。ただし、路上生活者は一定数いる。いかにも観光客な素振りをするとスリに遭う危険性が高いので注意。
保険について	オーストラリアに留学する学生が必ず入会しないといけない OSHC の、いくつか種類がある中で UTS の推奨する Medibank を利用した。追加で、日本の海外保険にも入った。
医療機関・薬について	寮から歩いて 10 分ほどの距離にある保険の適応されるクリニックにかかった。平日の診療は無料。薬については自費で払う必要があるが、後から保険会社に請求出来た。
気候と服装について	季節は日本と反対で、夏の気温は日本と同じくらい、冬は日本より暖かく 10 度を下回ること少なかった。基本的に晴れの日が多く、湿度は日本に比べてかなり乾燥している。紫外線が一説によると日本の 6 倍強く、日焼け止めなどの紫外線対策が必須。 冬用に厚手のコートを持参したが、使うことは無かった。夏は極端に露出を好む人が多い印象。
普段の買い物について	Woolworth,Coles,Aldi が３大スーパー。左から順に高価で、

	質が高い印象。私個人、日用品は Woolworth または Coles で頻繁に行われる半額セール時に購入するか、近くの DAISO で購入することが多かった。
娯楽・行事について	大学寮主催で頻繁にイベントやパーティが行われるため、それらに参加することが多かった。基本的に居酒屋が無く、寮の屋上で集まるかクラブに出向く人が多い印象。
日本語の使用について	日本からの留学生と話す際に使用した。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	【役に立ったもの】 化粧品、洗顔料、クリームなどの洗面用品。折り畳み傘。顔用の日焼け止め。極暖のヒートテック。 【持参したらよかったもの】 ムヒ、サングラス、就活用の証明写真のデータ、就活用のスーツ
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	日本史・世界史・世界情勢のおさらい。就活用の証明写真を撮ること。英語版の履歴書を準備すること。
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	就活サイト登録
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	説明会参加、自己分析、業界分析、オンラインインターンシップ、オンライン面接、ボストンキャリアフォーラム

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	語学能力試験対策、留学生との交流
留学中の学習方法、工夫したこと等	語学にそこまでフォーカスすることは無かったが、授業で分からないことや語句はすぐに先生または友達に聞いた。アウトラインがつかめていないと授業中の内容が分からないので予習に時間をかけた。積極的に様々なコミュニティーに参加し、自分がイベントを主催することもあった。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	授業を通してアカデミックな英語力が付いた。初めはグループワークで発言することがほとんどなかったが、後半は会話を回すこともあった。行きの空港のアナウンスは 20%程度しか聞き取れなかったが、帰りは意識して聞かなくてもほぼ理解できる

	ようになった。

８．その他

留学して得られたこと	多様性理解、行動力、自信、語学力
留学中に困ったこと	バイト探し、言語の壁、文化の壁、日本食と温泉が恋しい
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	JAMS.TV　https://www.jams.tv/

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

Enjoy life now. This is not a rehearsal.
私が留学生活を通して最も成長したのは「行動力」だと思います。

[留学を決めた理由]
昔から新しいことに挑戦するのが好きでした。「人生は一回だから、できるだけたくさんのものを見て、聞いて、食べて死にたい。」と思ったのが留学を決めた理由です。オーストラリアは生活水準、気候が日本と比較的似ていて、島国という点でも同じですが、圧倒的な多民族国家である点で日本と大きく異なります。このような国では日本と比べて人々はどのように考え、生活するのだろうかと興味があり、オーストラリアへの留学を決めました。

[現地で履修した授業およびその感想]
現地では、日本でもどんどん増えている多様な社会・組織をどのようにマネジメントするのかに興味を持ち、主に人材管理の授業を受けました。授業はインプットとアウトプットの２方面からのアプローチが取られていて、各講座につきレクチャーとチュートリアルが週に１回ずつありました。実践的な知識やケーススタディに重点を置いているところが大阪大学で私が今まで受けてきた授業とは違って面白いところでした。その分付け焼刃の知識では対応できず、しっかり理解できるまで学習することが必要でした。グループワークやプレゼンテーションが多く、初めはクラスメイトとのコミュニケーションがうまく取れず悩みましたが、勇気を出して１グループワーク１発言を意識することで最終的には授業後に必ずランチを食べに行くほどの仲のいい友達を作りました。

[大変だったこと]
私は、方言や流行り言葉とアルバイト探しに苦労しました。言語の壁については沢山の留学生が直面する通しですが、私は特に方言や流行りの言葉に関するボキャブラリーが少な

かったので、大学生の若者会話に苦労しました。周りは流暢に話す中自分が上手く話せないことが恥ずかしくて無口になることもありました。しかし、聞くは一時の恥聞かぬ一生の恥。分からない表現があった時勇気を出して聞き返すことで新しく知った表現や言葉が沢山ありました。教科書では習わないスラングも沢山覚えました。
アルバイト探しについては、コロナ明けで労働の供給が需要に追い付いていなかったこともあり、かなり難航しました。私は日本で元々飲食店のアルバイトをしていたので、毎日１０数枚の履歴書を持って近所のレストランに直接赴き、「私を雇ってください」と言って回りました。オーストラリアでは一般的な方法だそうです。外国人労働者であることもあり条件の良いバイトが中々見つからず、最終的には友人の紹介で勤務先を見つけましたが、半年以上かかりました。

[楽しかったこと]
世界各地に友達ができたこと、日本ではできないような経験が沢山出来たことが楽しかったことです。帰国してから世界地図にピンを指してみたところ本当に世界各地に友達がいることが分かって自分でも驚きです。それぞれが自国の料理を持ち寄ってディナー会を開くこともありました。口に合うものもあれば合わないものもありましたが、世界中の本場の味を食べることができたのは大変貴重な経験でした。他にも、大規模な誕生日パーティ、大学主催のクラブパーティやボートパーティ、寮主催のドレスコードありのオフィシャルパーティなど、日本での生活ではまず考えられないパーティ三昧の生活を送ったことも私の留学生活のハイライトです。

[留学を考えている後輩へのメッセージ]
勇気を出して一歩踏み出したことが私の留学生活を豊かにしました。これから留学に行かれる方、興味を持たれている方、ぜひ今このタイミングを逃さずにどんどんチャレンジしてください。人生はいつだって本番なのですから。